

がん検診、受けていますか？

私たちの2人に1人ががんになり、3人に1人ががんにより命を亡くしています。定期的に検査をすることで、早期発見、早期治療ができます。この機会にぜひ検診を受けましょう。

検診の確認・申し込みは、お気軽にお電話ください。

検診の種類	対象者 (平成28年4月1日現在の年齢)	自己負担金	検診日程	
			浜岡地区	御前崎地区
胸部 (結核・肺がん)	40歳以上	無料 <small>かくたん</small> (喀痰検査500円)	6月	総合がん検診 7月・9月 (うち10日間)
胃がん	35歳以上	1,000円	10月～1月	
大腸がん	40歳以上	500円		
乳がん	40歳以上の女性 (偶数年齢)	1,500円	5月～9月	
子宮頸(けい)がん		1,000円		
肝炎ウイルス検査	39歳以上の未検査者	1,000円	7月	
前立腺がん	50歳以上の男性	1,000円	11月～2月	11月～2月(※1)
乳がん	20～38歳の女性 (偶数年齢)	1,500円		
子宮頸(けい)がん		1,000円		

※1 36歳以上の人は、7月・9月の総合がん検診での受診となります。

申し込み・照会 健康づくり課 ☎0537[®]1123

覚えておきたい！ ～熱が出たときの対処法～

熱が出る原因でもっとも多いのは、ウイルスや細菌による感染症です。これらが侵入すると、体は熱を上げてそれらの増殖をおさえようとします。突然熱が出ると驚いてしまうかもしれませんが、普段からおさんの平熱を知っておき、発熱以外の症状もよく見て病院に行くか判断しましょう。

症状例1

- ・少し熱がある(37.5℃～38℃)
- ・発熱が38.5℃程度までで、いつも通り遊んでいるか、すやすや眠っている

しばらく様子を見ましょう。
心配であれば診療時間中に病院へ。

症状例2

- ・発熱が39℃以上、不機嫌でぐったりしている
- ・2日たっても熱が下がらない
- ・頻回の下痢、吐いてしまう
- ・顔色が悪く苦しそう、呼吸がおかしい

すぐに病院へ行きましょう。



◆家庭でできること◆

- ・発熱時は、頭、首、脇の下、股の付け根を冷やすと効果的です。
- ・寒気がするときは衣類や寝具を1枚増やすなどしてあたためてあげましょう。
- ・汗をかいたら、薄着にしたり、着替えさせたりしましょう。
- ・熱のために失われる水分をしっかり補いましょう。イオン飲料などが適当です。

照会 健康づくり課 ☎0537[®]1123